

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

32176 グループ

タイマ TOP の応用（連続出力モード）

1. 要約

この資料は 32176 グループのタイマ TOP を使用した参考プログラム例を掲載しています。

2. はじめに

この資料で説明する応用例は次のマイコン、条件での利用に適用されます。

- ・マイコン : 32176 グループ (M32176FnVFP、M32176FnTFP)
- ・動作周波数 : 20~40MHz (参考プログラムは 40MHz を想定して作成しています)
- ・動作ボード : 32176 グループ用スタータキット

3. 応用技術の説明

3.1 マルチジャンクションタイマの概要

マルチジャンクションタイマ（以下 MJT と略）には入力イベントバスおよび出力イベントバスが備えられており、タイマ単独での使用に加えてタイマ相互の内部接続が可能です。この機能によりフレキシビリティに富んだタイマが構成でき、多様なアプリケーションに対応できます。タイマが内部のイベントバスとの多数の接続点を持つことからマルチジャンクションの名前が付けられています。

MJT 機能の詳細は、32176 グループのユーザーズマニュアルを参照してください。

4. 連続出力モード参考プログラム

4.1 参考プログラムの概要

本参考プログラム例では、TOP10 を使用し、定周期で割り込み要求を発生します。外部端子 (TO10) への出力は行わず、割り込み処理で P11DATA をインクリメントします。

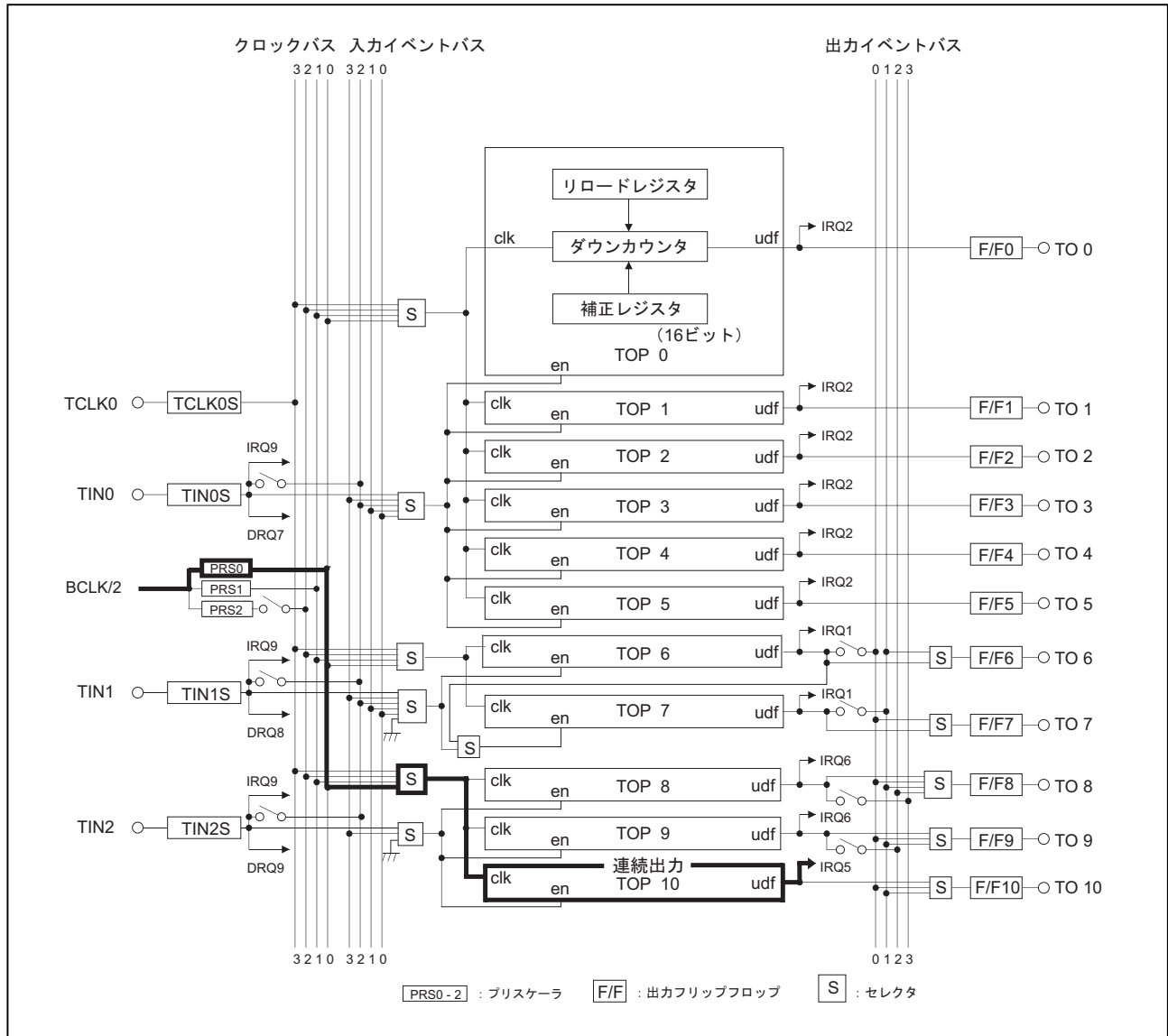


図 4.1.1 TOP 連続出力タイマ構成図

4.2 処理手順

タイマ設定の基本処理フローを図 4.2.1 に示します。

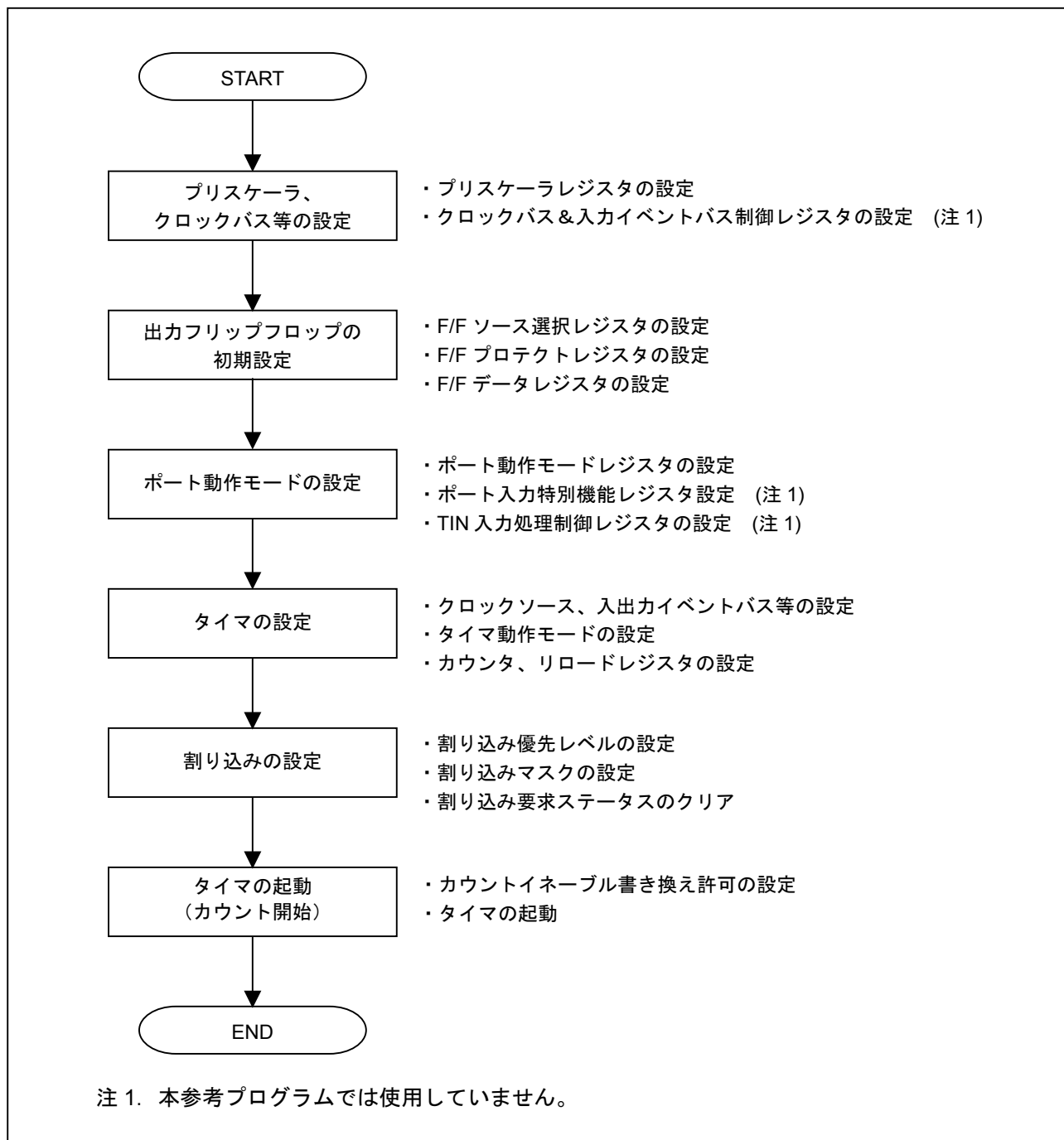


図 4.2.1 タイマ設定基本処理フロー

4.3 参考プログラムの解説

注. 使用しているレジスタを（レジスタ名：ビット名）と表記しています。

4.3.1 タイマ初期化関数（timer_init()）

- (1) プリスケーラ分周値の設定
 - ・プリスケーラレジスタ 0 に“プリスケーラ分周値 - 1”を設定（PRS0）

4.3.2 ポート初期化関数（port_init()）

- (1) 出力ポートの初期設定
 - ・P11 データレジスタの初期化（P11DATA）
 - ・P11 方向レジスタを出力モードに設定（P11DIR）
 - ・P11 動作モードレジスタを汎用ポートに設定（P11MOD）

注. ・データレジスタの設定を行う前に、方向レジスタを出力に設定すると、データレジスタへ書き込みが行われるまでの間、不定値が出力されます。

4.3.3 各種初期化関数（init_func()）

- (1) ポート初期化関数の呼び出し
- (2) タイマ初期化関数の呼び出し

4.3.4 メイン関数（main()）

- (1) 各種初期化関数の呼び出し
- (2) 割り込み禁止関数の呼び出し
- (3) TOP10 連続出力モード初期値設定、カウント開始関数の呼び出し
- (4) 割り込み許可関数の呼び出し
- (5) 割り込み待ち無限ループ

4.3.5 TOP10 割り込み処理関数（TOP10_FixCyclnt()）

- (1) P11DATA をインクリメント
 - ・TOP10 の割り込み発生で、P11DATA をインクリメント

4.3.6 TOP10 連続出力モード（定周期割り込み）初期値設定、カウント開始関数 (TOP10_FixCyc_init())

- (1) タイマ出力端子の初期設定（TO10 出力禁止）
 - ・ P10 動作モードレジスタのポート P102 動作モードビットを汎用ポートに設定 (P10MOD : P102MOD)
- (2) TOP10 割り込みの設定
 - ・ MJT 出力割り込み制御レジスタ 5（TOP10 割り込み）の割り込み優先レベルを 0（最優先）に設定 (IMJTOCR5 : ILEVEL)
- (3) TOP10 の設定
 - ・ 連続出力モードに設定 (TOP810CR : TOP10M)
 - ・ クロックソースをクロックバス 0 に設定 (TOP810CR : TOP810CKS)
 - ・ カウンタ初期値設定 (TOP10CT)
 - ・ リロードレジスタ初期値設定 (TOP10RL)
- (4) TOP10 カウント開始
 - ・ イネーブルプロテクトビットを書き換え許可に設定 (TOPPRO : TOP10PRO)
 - ・ カウント開始 (TOPCEN : TOP10CEN)

4.3.7 スタートアップルーチン (startup.ms)

- (1) 割り込みの設定
 - ・ ICU ベクターテーブルの割り込み要因、MJT 出力割り込み 5（H'0000 00B0 番地）に割り込み処理関数 (TOP10_FixCycInt0) の先頭アドレスを設定する

4.4 参考プログラム例

下記に TOP10 連続出力モード (定周期割り込み) の参考プログラム例を示します。本参考プログラム例では、割り込み周期を 50ms としています。

尚、下記の参考プログラム例では、SFR 定義ファイルが必要です。最新の SFR 定義ファイルはホームページよりダウンロードできます。SFR 定義ファイル使用時は、お客様の環境に合わせてパスの設定をおこなってください。

4.4.1 TOP10_fixcyc_main.c

```

1  /*****FILE COMMENT*****/
2  *      M32R C Programming          Rev. 1.01
3  *      < Sample Program for 32176 >
4  *      < TOP10 continuous output (main routine) >
5  *
6  *      Copyright (c) 2004 Renesas Technology Corporation
7  *      All Rights Reserved
8  *****/
9
10 /*****/
11 /*      Include file                */
12 /*****/
13
14 #include      "..\inc\sfr32176_pragma.h"
15
16 /*****/
17 /*      Function prototype declaration */
18 /*****/
19
20 void          main(void);           /* Main function */
21 void          init_func(void);      /* Initial setup function */
22 void          port_init(void);      /* Initialize port */
23 void          timer_init(void);     /* Timer initialization */
24 void          TOP10_FixCycInt(void); /* Fixed cycle interrupt processing */
25
26 /*****/
27 /*      Definition of external reference */
28 /*****/
29
30 extern void    DisInt ( void );     /* Interrupt disable function */
31 extern void    EnInt ( void );      /* Interrupt enable function */
32
33 extern void    TOP10_FixCyc_init(void); /* Initialize TOP10 continuous output mode */
34
35 /*****FUNC COMMENT*****/
36 * Function name: timer_init()
37 *-----
38 * Description : Timer initialization
39 *-----
40 * Argument   : -
41 *-----
42 * Returns    : -
43 *-----
44 * Notes     : -
45 *****/
46 void timer_init(void)
47 {
48     PRS0 = ( 100 - 1);              /* Set prescaler(10us@10MHz) */
49 }
50
51 /*****/
52 * Function name: port_init()
53 *-----
54 * Description : Initialize port
55 *-----
56 * Argument   : -
57 *-----
58 * Returns    : -
59 *-----
60 * Notes     : -
61 *****/
62 void port_init(void)
    
```

```

63 {
64 /** LED output port ***/
65
66     P11DATA = 0x00;          /* Output data (must be set prior to mode) */
67     P11DIR = 0xff;          /* P110-P117 : Output mode */
68     P11MOD = 0x00;          /* P110-P117 : Input/output port */
69 }
70
71 /*****FUNC COMMENT*****/
72 * Function name: init_func()
73 *-----
74 * Description : Call various initialization functions
75 *-----
76 * Argument : -
77 *-----
78 * Returns : -
79 *-----
80 * Notes : -
81 *****/
82 void init_func(void)
83 {
84     port_init();            /* Initialize those related to port */
85     timer_init();          /* Initialize those related to timer */
86 }
87
88 /*****FUNC COMMENT*****/
89 * Function name: main()
90 *-----
91 * Description : While using TOP10 in continuous output mode, this program generates an interrupt at intervals of 50ms
92 *               : (when the source clock frequency = 10 MHz) to increment the LED (port 11) data.
93 *               : In this case, timer output is not forwarded to external devices.
94 *-----
95 * Argument : -
96 *-----
97 * Returns : -
98 *-----
99 * Notes : -
100 *****/
101 void main(void)
102 {
103     /** Initializing microcomputer ***/
104
105     init_func();
106
107     DisInt();                /* Disable interrupt */
108
109     TOP10_FixCyc_init();     /* Start TOP10 count */
110
111     EnInt();                 /* Enable interrupt */
112
113     while( 1 ){              /* Wait for interrupt (infinite loop) */
114         ;
115     }
116 }
117
118 /*****FUNC COMMENT*****/
119 * Function name: TOP10_FixCycInt()
120 *-----
121 * Description : Fixed cycle interrupt processing
122 *-----
123 * Argument : -
124 *-----
125 * Returns : -
126 *-----
127 * Notes : -
128 *****/
129 void TOP10_FixCycInt( void )
130 {
131     P11DATA++;              /* Increment port upon occurrence of interrupt */
132 }

```

4.4.2 TOP10_fixcyc.c

```

1  /*****FILE COMMENT*****/
2  *      M32R C Programming          Rev. 1.01
3  *      < Sample Program for 32176 >
4  *      < TOP10 continuous output (fixed cycle) mode >
5  *
6  *      Copyright (c) 2004 Renesas Technology Corporation
7  *      All Rights Reserved
8  *****/
9
10 /*****/
11 /*      Include file                */
12 /*****/
13
14 #include          "..\inc\sfr32176_pragna.h"
15
16 /*****/
17 /*      Function prototype declaration      */
18 /*****/
19
20 void      TOP10_FixCyc_init(void);          /* Set TOP10 continuous output mode (fixed cycle interrupt) */
21 void      TOP10_FixCycInt(void);          /* Process fixed cycle interrupt (user processing) */
22
23 /*****/
24 /*      Define macro                  */
25 /*****/
26
27 /*** Continuous output : Fixed cycle(TOP10) ***/
28
29                                     /* 0123 4567 89AB CDEF          */
30 #define TOP10_MASK          0x3013u      /* 0011 0000 0001 0011B          */
31 #define TOP10_CntOutput     0x2010u      /* 0010 0000 0001 0000B          */
32                                     /* ||      |  +-+ Select clock bus 0          */
33                                     /* ||      +----- Select enable source      */
34                                     /* +-+----- TOP10 continuous output mode     */
35
36 #define TOP10_Ilevel        0            /* MJT output interrupt 5 (TOP10) interrupt priority level */
37
38 #define TOP10_Cycle         5000 - 1     /* TOP10 interrupt cycle */
39
40 /*****FUNC COMMENT*****/
41 * Function name: TOP10_FixCyc_init()
42 * -----
43 * Description : TOP10 interrupt cycleInitial settings necessary to generate an interrupt at fixed intervals while
44 *              : driving TOP10 in continuous output mode
45 *              : - While driving TOP10 in continuous output mode, this function generates an interrupt at fixed
46 *              : intervals
47 *              : - No signals are output from TO10
48 *              : - The count source used for this operation is clock bus 0
49 * -----
50 * Argument    : -
51 * -----
52 * Returns     : -
53 * -----
54 * Notes       : The prescaler, clock bus, etc. are set separately from the above
55 *              : Must be executed while interrupts are disabled
56 *****/
57 void TOP10_FixCyc_init( void )
58 {
59     USHORT top810cr;
60 /*** Disabling TOP10 (TO10) output ***/
61
62     P10MOD &= ~0x20u;          /* Disable TOP10 (TO10 output) against output .. Select port P102 output */
63
64 /*** Setting continuous output mode (TOP10) ***/
65
66     IMJTCR5 = TOP10_Ilevel;    /* Set MJT output interrupt 5 (TOP10) interrupt priority level */
67
68     top810cr = TOP810CR;
69     TOP810CR = ( top810cr & ~TOP10_MASK ) | TOP10_CntOutput; /* Set TOP10 continuous output mode */
70
71     TOP10CT = TOP10_Cycle;     /* Set initial value in TOP10 counter */
72     TOP10RL = TOP10_Cycle;     /* Set initial value in TOP10 reload register */
73
74     TOPPRO &= (~TOP10PRO) & 0xFFFFFu; /* Enable TOP10 enable protect */
75     TOPCEN = 0xffffu;         /* Enable TOP10 count */

```

76 }
77

4.4.3 startup.ms (一部を抜粋)

(省略)

```

69 ;*****
70 ; ICU Vector Table
71 ;*****
72 ;
73     .SECTION      ICUVECT, DATA, ALIGN=4
74 ;
75     .IMPORT      $TOP10_FixCycInt
76 ;
77 vectbl:
78     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 0094    MJT Input Interrupt 4:TIN3-TIN6
79     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 0098    MJT Input Interrupt 3:TIN20-TIN23
80     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 009C    MJT Input Interrupt 2:TIN12-TIN19
81     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00A0    MJT Input Interrupt 1:TIN0-TIN2
82     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00A4    MJT Input Interrupt 0:TIN7-TIN11
83     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00A8    MJT Output Interrupt 7:TMS0,TMS1
84     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00AC    MJT Output Interrupt 6:TOP8, TOP9
85     .DATA.W      $TOP10_FixCycInt   ; H'0000 00B0    MJT Output Interrupt 5:TOP10
86     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00B4    MJT Output Interrupt 4:TIO4-TIO7
87     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00B8    MJT Output Interrupt 3:TIO8,TIO9
88     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00BC    MJT Output Interrupt 2:TOP0-TOP5
89     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00C0    MJT Output Interrupt 1:TOP6, TOP7
90     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00C4    MJT Output Interrupt 0:TIO0-TIO3
91     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00C8    DMAC0-4 Interrupt:DMA0-DMA4
92     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00CC    SIO1 Receive Interrupt
93     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00D0    SIO1 Transmit Interrupt
94     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00D4    SIO0 Receive Interrupt
95     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00D8    SIO0 Transmit Interrupt
96     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00DC    A-D0 Conversion Interrupt
97     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00E0    TID0 Output Interrupt
98     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00E4    TOD0 Output Interrupt
99     .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00E8    DMAC5-9 Interrupt:DMA5-DMA9
100    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00EC    SIO2,3 Transmit/Receive Interrupt
101    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00F0    RTD Interrupt
102    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00F4    TID1 Output Interrupt
103    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00F8    TOD1,TOM0 Output Interrupt
104    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 00FC    SIO4,5 Transmit/Receive Interrupt
105    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 0100    A-D1 Conversion Interrupt
106    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 0104    TID2 Output Interrupt
107    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 0108    TML1 Input Interrupt
108    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 010C    CAN0 Transmit/Receive & Error Interrupt
109    .DATA.W      EIT_reset          ; H'0000 0110    CAN1 Transmit/Receive & Error Interrupt

```

(以下省略)

4.5 動作タイミング

以下に本参考プログラムでの動作タイミングを示します。
(プログラム中では $n=5000-1$ としています)

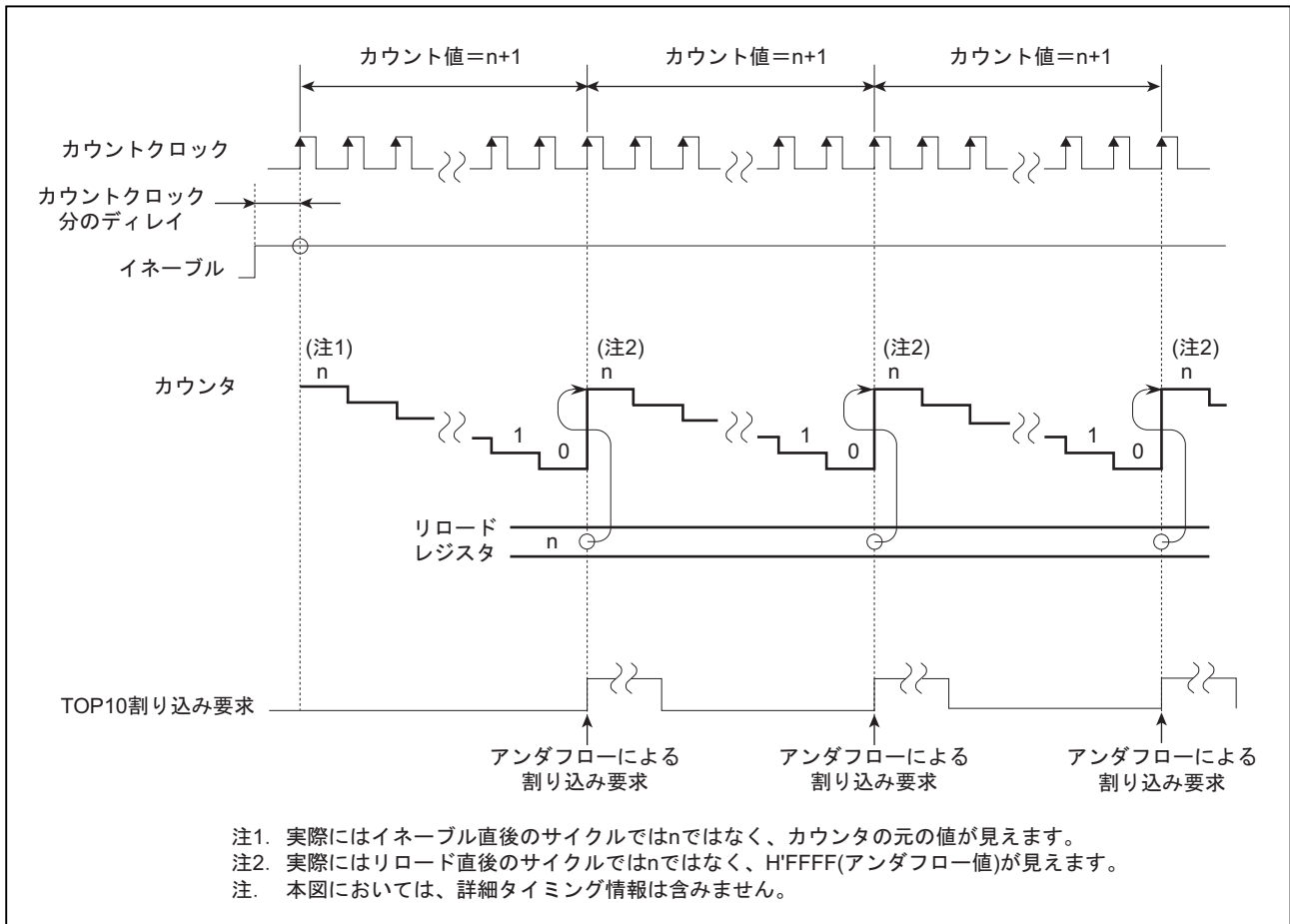


図 4.5.1 TOP 連続出力モードパルス出力タイミング図

5. 参考ドキュメント

- 32176 グループデータシート Rev.1.40
- 32176 グループ ユーザーズマニュアル Rev.1.02
- M3T-CC32R V.4.30 ユーザーズマニュアル (C コンパイラ編)
- M3T-AS32R V.4.30 ユーザーズマニュアル (アセンブラ編)
- M32R ファミリ ソフトウェアマニュアル Rev.1.10
(最新版をルネサス テクノロジホームページから入手してください。)

6. ホームページとサポート窓口

ルネサス テクノロジホームページ
<http://www.renesas.com/>

ルネサス製品全般に関するお問合せと M32R ファミリに関する技術的なお問合せ先
カスタマサポートセンタ : csc@renesas.com

改訂記録	32176 グループ タイマ TOP の応用（連続出力モード） アプリケーションノート
------	---

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2004.10.25	－	初版発行
1.01	2005.07.01	10	startup.ms プログラム例差し替え

安全設計に関するお願い

1. 弊社は品質、信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品は故障が発生したり、誤動作する場合があります。弊社の半導体製品の故障又は誤動作によって結果として、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないような安全性を考慮した冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計などの安全設計に十分ご留意ください。

本資料ご利用に際しての留意事項

1. 本資料は、お客様が用途に応じた適切なルネサス テクノロジ製品をご購入いただくための参考資料であり、本資料中に記載の技術情報についてルネサス テクノロジが所有する知的財産権その他の権利の実施、使用を許諾するものではありません。
2. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズムその他応用回路例の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、ルネサス テクノロジは責任を負いません。
3. 本資料に記載の製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズムその他全ての情報は本資料発行時点のものであり、ルネサス テクノロジは、予告なしに、本資料に記載した製品または仕様を変更することがあります。ルネサス テクノロジ半導体製品のご購入に当たりましては、事前にルネサス テクノロジ、ルネサス販売または特約店へ最新の情報をご確認頂きますとともに、ルネサス テクノロジホームページ(<http://www.renesas.com>)などを通じて公開される情報に常にご注意ください。
4. 本資料に記載した情報は、正確を期すため、慎重に制作したものです。万一本資料の記述誤りに起因する損害がお客様に生じた場合には、ルネサス テクノロジはその責任を負いません。
5. 本資料に記載の製品データ、図、表に示す技術的な内容、プログラム及びアルゴリズムを流用する場合は、技術内容、プログラム、アルゴリズム単位で評価するだけでなく、システム全体で十分に評価し、お客様の責任において適用可否を判断してください。ルネサス テクノロジは、適用可否に対する責任を負いません。
6. 本資料に記載された製品は、人命にかかわるような状況の下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。本資料に記載の製品を運輸、移動体用、医療用、航空宇宙用、原子力制御用、海底中継用機器あるいはシステムなど、特殊用途へのご利用をご検討の際には、ルネサス テクノロジ、ルネサス販売または特約店へご照会ください。
7. 本資料の転載、複製については、文書によるルネサス テクノロジの事前の承諾が必要です。
8. 本資料に関し詳細についてのお問い合わせ、その他お気付きの点がございましたらルネサス テクノロジ、ルネサス販売または特約店までご照会ください。